

市町村指定文化財取材票 《表》

| | | | | | |
|-------|---------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 9月 | 10日 | (記入者) 垣内博久 | |
| 取材参加者 | 垣内 | 喜多 | 久門 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 横山 | | | |
| 取材対象先 | 川上村：徳蔵寺本堂の木造阿弥陀如来坐像 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------|---|-----|--|--|--|
| 所在地 | 吉野郡川上村西河(にしがわ) 649 | | | | |
| 所有者(取材 対応者)名 | 徳蔵寺 辰巳佳叙(かじよ)住職 (個人情報守秘) | | 連絡先 0746 53 2358 辰巳悦佳(えつか)様 | | |
| | | | PCアドレス | | |
| 取材申込 | 申込先・行政名など：徳蔵寺 | | | | |
| 市町村 指定文化財 | 彫刻 | 2 軀 | [本堂] 木造阿弥陀如来坐像 1983(昭和58)年6月22日指定 [釈迦堂] 木造釈迦如来坐像 同上 | | |
| | 建造物 | 棟 | | | |
| 文化財指定理由 | (本堂)室町時代後期の宿院仏師・源三郎作の檜の檀像である。 (釈迦堂)12世紀中ごろ平安時代の作で、定朝様式の影響を示している。 | | | | |

文化財の状況

| | 設備・対策・点検・通知方法など | 記入者の感想 |
|--------------------------------|---|-------------------------------|
| 防火対策 | (本堂)火災報知器は設置なし。寺の入口階段下に貯水槽と消防設備がある。住居を兼ねているので防災時には近隣住民と対応することになる。 (釈迦堂)アクリル板で区切った厨子に安置され防犯カメラを設置。火災報知器等の設備はない。 | 本堂、釈迦堂、庚申堂等があり火災時には対応が厳しいと思う。 |
| 獣害対策 | 被害の有無、対策など (本堂)猿が頻繁にやってくるので、お堂を開けている時は音楽を流している。音楽を流すと来ない。鹿がたまに来るので柵を設置している。 (釈迦堂)堂内での安置で被害はない。 | 被害は防いでいるが、猿だけに今後が心配。 |
| 保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策 | 現在、住職は東京の曹洞宗宗務庁に勤務しているため母親(前住職の夫人)が一人で日常は守られている。釈迦堂や庚申堂もあり維持管理は大変だと思われる。本像は本堂内の厨子内に安置されているので保存に問題はない。 | |

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

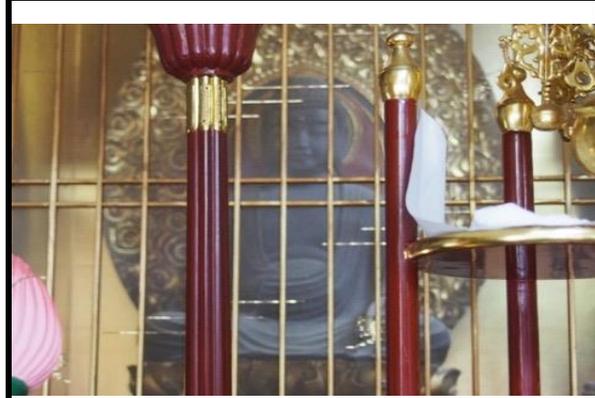
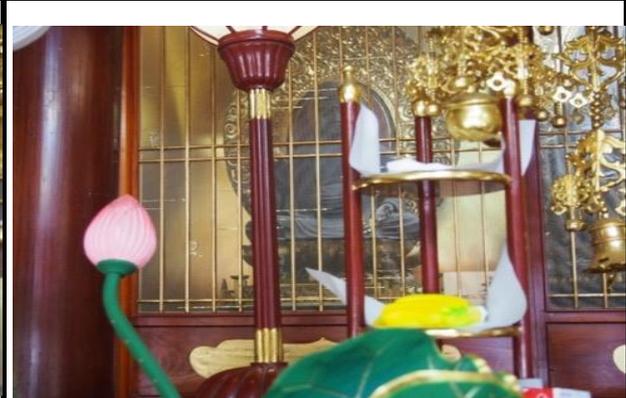
西河地区を見下ろす山の中腹に位置し、周囲に墓所をもち、境内には釈迦堂、庚申堂がある。彼岸花が自生しており、9月には鮮やかな景観となる。猿対策のために常に音楽が流れ、案山子や人形等の趣味の作品が飾られ、飼育するメダカ等、安らげる空間になっている。檀家の協力で維持されているが、40数軒になり将来的には不安がある。

市町村指定文化財取材票<裏>①

| | | | | | |
|-------|---------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 9月 | 10日 | (記入者) 垣内博久 | |
| 取材参加者 | 垣内 | 喜多 | 久門 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 横山 | | | |
| 取材対象先 | 川上村：徳蔵寺本堂の木造阿弥陀如来坐像 | | | | |

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

| | |
|---|---|
| 文化財 (正面写真) | 文化財 (角度を変えて、写真) |
|  |  |
| 文化財 (安置状態の全体写真) | 徳蔵寺本堂 |
|  |  |
| 文化財の由緒などを記入 本堂の伽藍内の本尊左に右側の薬師如来と共に安置。高さ39.2cmの檜造りの檀像。安土桃山時代の作とされていたが後頭部内側に墨書があり、室町時代の宿院仏師・源三郎の作とわかった。 | 所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入 宝亀5年 (774)、鑑真和上の第二弟子慈忍の開創。庚申堂があり、畿内三庚申の寺として知られ、「にじっこうの庚申さん」として有名。 村内には雄略天皇の虻 (あぶ) 伝説の蜻蛉の滝があり、天気の良い日には虹がかかることから虹光 (にじっこう) と呼ばれていたが現在は西河 (にしがわ) に転じている。 |

市町村指定文化財取材票<裏>②

| | | | | | |
|-------|---------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日 | 2023年 | 9月 | 10日 | (記入者) 垣内博久 | |
| 取材参加者 | 垣内 | 喜多 | 久門 | 小西 | 島田 |
| | 鶴田 | 横山 | | | |
| 取材対象先 | 川上村：徳蔵寺釈迦堂の木造釈迦如来坐像 | | | | |

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木造釈迦如来坐像

| 文化財 (正面写真) | 文化財 (角度を変えて、写真) |
|---|---|
|  |  |
| 釈迦堂 | 気になる部位の写真 (膝) |
|  |  |
| 文化財の由緒などを記入 | 所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入 |
| <p>釈迦堂の本尊で、末寺音応寺から移された客仏か。像高94cmの檜造で定朝様式の影響が見られる。地元では「黒ん坊」の愛称で親しまれ、子供のいたずらが過ぎると「黒ん坊さんところ行こか」と言えばおとなしくなったと言われるほど真っ黒(漆の下地の色)。文化財指定のあと昭和60年にお堂と一緒に改修。子供が膝に乗っていたので膝が白く剥けている。メノウの肉髻、水晶の白毫。</p> | <p>木造阿弥陀如来坐像取材票に同じ。</p> |